



愛知県遊技業協同組合
「障害者授産施設製品購入による
継続的資金支援」事業



愛知県遊技業協同組合 理事長
森山定幸さん

クッキー購入で障害者の
就労や自立を息長く支援する

年賀キャンペーンに授産製品を活用

愛知県遊技業協同組合(以下愛遊協)は、これまでの社会貢献大賞でも、たびたび受賞実績のあるところ。2006年には「パチンコ大衆文化・福祉応援賞の贈呈」事業で社会貢献大賞に輝いているし、2009年は「名古屋城本丸御殿復元過程映像制作と寄贈」事業で都府県方面部門の優秀賞を受賞。さらに傘下の支部組合や組合員ホールも受賞歴があり、それぞれが特長を生かし、地域コミュニティに貢献するような活動を積極的に行っている。1976年から続けている「パチンコ大衆文化・福祉応援賞の贈呈」事業に象徴されるように、愛遊協の社会貢献活動の大きな特長のひとつが、事業の継続的な展開である。

今回、優秀賞を受賞した「障害者授産施設製品購入による継続的資金支援」事業も、10年間にわたる活動が評価されてのもの。一過性に終わる支援活動が少なくないか、景気の波や社会情勢の変化を乗り越え、コツコツと支援を続ける姿勢は、業界の鑑として評価されるべきものだろう。授産製品とは、障害者が一般企業での就労や自立した生活が営めるよう、作業訓練の一環として福祉施設において製造している製品のことである。さまざまな製品があるが、食品としてはクッキーやパンなどが代表的なものである。

さて、事業の内容だが、正月三が日に県内のホールを訪れるパチンコファンに、年賀キャンペーンとして無料で配る粗品のひとつに、障害者授産施設製品であるクッキーを購入して活用するというものである。これによって来店客に喜んでもらえるのはもちろん、障害者の方々に就労や収入の機会を提供して明るい年末年始を迎えようということである。

愛遊協では、県内の福祉施設で作られた製品の販売や、施設に対して仕事の斡旋などを行う社団法人愛知県セルフセンターの協力を得て、年末に県内の授産施設にクッキーを注文。2010年度は15施設からの購入となった。このクッキーは厳選された材料を使用することをモットーに生産されている手づくりクッキーであり、名古屋市をは



共同作業所でのクッキーの袋詰め作業



県下15施設からクッキーを購入



愛知県セルフセンターから配送資料等を受領

じめとする自治体の行事の記念品として活用されたり、展示即売会などでも人気を呼んでいるという。

10年間で3,400万円分のクッキー購入

この事業は、愛遊協が組合員全員の承認を得て、毎年の事業計画に組み入れて実施している継続事業である。2001年度から始まり、昨年で10回を数えるが、当初は全国ファン感謝デーに合わせて行われていたもので、2006年度から愛遊協が主催する年賀キャンペーンとして実施されるようになった。これまでの10年間で、クッキー購入金額の合計は、約3,400万円となっている。昨年の購入額

は415万円、クッキー総量83,000袋で、1店舗あたり100～200袋が来店客に配られた。

事業の実施にあたっては、愛知県や名古屋市の福祉担当部局を通じて記者クラブに報道文を配布し、活動の発表を行ったり、愛知県セルフセンターと連携して活動のPRを行うなど、業界の社会貢献活動の周知にも努めている。また、継続的な支援活動を行うことで、県内の授産施設から感謝されるとともに、愛知県セルフセンターの毎年の事業報告の中でも大きな成果をあげている事業として取り上げられ、評価されている。今後も継続し、20年、30年と続けていってほしい事業である。